

猪苗代町議会議員

あんざい浩明後援会だより (第1号)

〒969-2752

福島県耶麻郡猪苗代町大字蚕養字中島乙 591 番地2

☎090-3361-8891

✉hiroaki.anzai845824@gmail.com

発行 あんざい浩明後援会



あんざいひろあき いなわしろプラン

あん 日本一安全安心な町づくり

ざい 災害に強い町づくり

ひ 広い農地を活用し愛される町づくり

ろ 高齢者の知恵を引き継ぐ町づくり

あ 「あいであ」を出し続ける町づくり

き 教育(探究)で育つ町づくり

”猪苗代湖”のような広い心
”磐梯山”のような高い志で
”ななかまど”のような強い心で

猪苗代町議会議員選挙で **初当選** することができました!

日本一安全・安心で豊かな町づくりを目指し、
皆様のお声を全力で町政にお届けいたします。



猪苗代町議会3月定例会等についての活動報告

1 臨時議会

3月1日臨時議会が開催され、あんざい浩明は副議長に就任しました。

各委員会につきましては、総務文教(総務、財務、企画、消防、防災、教育)常任委員会、広報広聴常任委員会に所属しました。

2 3月定例会(3月12日~22日開催)

(1)一般質問(議員として初めての一般質問を実施しました。)

《猪苗代町議会議員一般選挙の結果について》

今回の猪苗代町議会議員一般選挙は、平成28年以来、8年ぶりの選挙戦となりました。選挙結果においては、新人や20歳代、30歳代の議員が多く票を獲得しており、町政に対する町民の皆様の声、町民の皆様の期待が反映された結果であると認識しております。

【質問】今回の選挙結果を町は、どのように受け止め、今後の町政にどのように反映するのか。

【副町長~町長は感染症のため欠席】

8年ぶりとなった今般の選挙で、新人候補者と若い世代の候補者の方々が上位の得票で当選されたことに関しては、有権者の方々が新人候補者や若手候補者の行動力を支持され、期待している結果だと捉えております。今後は、町民の皆さんに一層の関心をもってもらえるよう、議員の皆様方と一緒に、町政進展のために尽力してまいります。

《交通事故防止対策について》

今回の選挙において、警察官としての経験を生かし、「日本一安全安心で豊かな町に!」をキャッチフレーズに、事件・事故のない、交通事故のない、そして災害に強い町づくりを訴えてきました。安全・安心な暮らしは、町民の皆様にとって最もかけがえないものであると認識しています。しかしながら、最近の町内の情勢を見ると、交通死亡事故が発生するなど、町民の皆様安全・安心な暮らしが脅かされていると感じています。

【質問】令和5年の本町における交通事故の発生状況と、どのような交通事故防止対策を実施したか。

【総務課長】

令和5年の件数については、物件事数が558件、これは前年比で+18件です。人身事故が24件、これは前年比-2件です。人身事故のうち死者数が1件、これは前年比で±0、人身事故のうちけがをされた方が30件で、前年比-6件です。交通事故防止対策は、死亡事故が起こった場合、警察署が事務局となっている交通死亡事故続発防止検討会議に、本町は交通対策協議会として参加しています。この検討会において、死亡事故現場での再発防止対策や安全対策を協議・検討し、その結果から、それぞれの道路管理者が安全対策を実施することとしています。交通事故が発生する場所や、危険箇所については、当該地区の区長様や住民の方から意見・要望等を、案件によって警察署や道路管理者へ取り次いでおり、町道であれば建設課と協議・検討し、可能な限り安全対策を実施しています。

【質問】昨年、1月2日の夜、郡山市大平町の市道交差点で4人が亡くなった交通死亡事故を受け、郡山市等の市町村では、道路危険箇所の総点検を実施し、各種対策を講じているが、本町での交通危険箇所の総点検や、それを踏まえてどのように対策を実施したか。

【建設課長】

道路維持管理を目的とした施設点検は、パトロールという形で定期的に行っています。交通危険箇所の点検については、通学路合同点検にのみ実施しています。通学路合同点検の際に、危険と判断した路線に対し、即効性の高い対策と計画的な実施が必要な対策と分類し、今年度は区画線や路面標示を施工するなど即効性の高い安全対策を実施します。

【質問】中学校の統合に続き、小学校も統合され通学距離が長くなるなど子どもたちを取り巻く交通環境の悪化が懸念されるが、それを踏まえた交通事故防止対策をどのように推進していくのか。

【教育総務課長】

児童に対する交通安全教育に引き続き努めながら、通学路安全点検や地域の声、さらには職員がマイクロバスでの試走を行いました。引き続きスクールバスや路線バスに搭乗し、状況を確認するなど、危険箇所の把握に努めるとともに、関係機関と連携を図りながら交通事故防止対策に取り組めます。

《移住・定住について》

先日、地方移住を支援する認定 NPO 法人ふるさと回帰センターが窓口訪問やセミナー参加などを通じた移住相談件数が令和5年は5万9,276件で過去最多でありました。また、窓口相談に来た人を対象とした都道府県別の移住希望地は、静岡県が4年連続1位で、本県は12位と発表しています。認定 NPO 法人ふるさと回帰センターは、地方移住を促進する上で極めて有効かつ効果的な団体であると認識しています。

【質問】本町における認定 NPO 法人ふるさと回帰センター、または同様の機関とのこれまでの関わりや今後の連携の予定等はあるのか。

【商工観光課長】

移住を考えている方へのヒントが見つかるセミナーや自治体と直接話せる相談会を、有楽町において相談ブースを各自自治体が提供し毎年開催しています。本町でも、令和5年度からこのセミナーに参加し、PR 活動を実施しています。令和6年度においても、ふるさと回帰支援センターと連携しセミナーを開催するなど、積極的にPR 活動を活用します。

【質問】本町ホームページに掲載されている「引越・住まい(定住・二地域居住)欄等の情報提供に基づく相談・問い合わせの実態とその効果は上がっているのか。

【商工観光課長】

令和3年度は39件、令和4年度は37件、令和5年度は、今のところ34件です。集計を始めた平成30年度は10件ですから3倍以上の相談件数となっています。移住者件数の実績では、令和3年度は9件17名、令和4年度は11件19名、令和5年度は1月末現在で、13件28名となっている。過去3年間では、合計33件64名の実績となっています。

【質問】福島県では、今年度「ふくしまくらし推進課」を新設して、移住対策を力をいれてきたが、本町では、移住・定住に特化した課等の新設予定はあるのか。

【総務課長】

条例定数内の人員配置及び各課等における業務量に対しての人員数を考慮して、現在の職員配置をしています。移住・定住の業務については、商工観光課が担当しています。組織の機構改革等に関しては、副町長が委員長となり職員で構成する事務合理化委員会で協議検討し、必要と判断された場合に課等を新設することになっています。現時点での移住・定住に特化した課等の新設予定はありません。

(2) 予算審査特別委員会

あんざい浩明は、予算審査特別委員会委員長として、令和5年度補正予算、令和6年度当初予算を審査しました。

(3) 審議した主な議案の可決

- ・令和6年度一般会計予算 ○(賛成しました。)
- ・猪苗代町保育所条例の廃止 ○(賛成しました。)
- ・猪苗代町コンバインの管理運営に関する条例の一部改正 ×(反対しました。)
- ・猪苗代町放課後児童健全育成事業に関する条例の一部改正 ○(賛成しました。)
- ・猪苗代町介護保険条例の一部改正 ○(賛成しました。)



あんざい浩明後援会にご入会ください。

～あんざい浩明後援会規約(抜粋)～

- 「あんざい浩明後援会」と称し、事務所は福島県耶麻郡猪苗代町に置く。
- 安齋浩明氏の政治活動を支援し、福島県耶麻郡猪苗代町の発展と住民福祉の増進を図ることを目的とする。
- 次の諸活動を行う
 - ① 講演会、意見交換会、座談会、勉強会等の開催
 - ② 機関誌、その他印刷物の発行及び配布
 - ③ 会員及び関係諸団体等との情報交換及び親睦
 - ④ その他本会の目的達成のために必要な事業
- 本会の目的に賛同し、入会申込書を提出した者によって構成する。